

心塾東京寮「建て替え」へ

令和3年度事業計画を決定 支援拡充策の具体的検討に着手

交通児童育英会は第30回通常理事会で令和3年度事業計画を決定した。第5次長期事業計画の初年度にあたり、修学支援の柱となる支援拡充策について具体的な検討に入る。

前年度は新型コロナウイルスの感染拡大によって中止した主要行事は、引き続き感染状況を注視しながら可否を判断する。老朽化が指摘されている心塾東京寮（東京都日野市）は、来年度から現地で建て替えを計画しており、2024（令和6）年に新東京寮として再開する予定。なお、工事期間中は東京・高尾（八王子市）に代替施設を用意する。

【事業計画の概要】
 ◇奨学生の採用
 新規・継続を合わせて高校（高専1〜3年を含む）273人、大学（短大・高専4・5年を含む）558人、大学院19人、専修学校116人、各種学校4人―計970人の採用を予定。交通事故死者の減少や少子化の進展、国の高等教育修学支援新制度などを背景に漸減傾向が続いており、昨年度比45人減となる。

奨学金は昨年度から大卒などを対象に一部給付が始まっており、昨年度は奨学金合計額6億4400万円のうち、1億6000万円を給付に充てた（決算予想額）。今年度は貸与4億6100万円、給付1億5300万円（前年度比3000万円減）を見込んでいる。

◇支援の拡大検討
 長期事業計画に基づき、一部給付金の対象者を広げたり、増額が可能かどうかなど支援の拡大を具体的に検討する。また、家賃補助条件の緩和や通学定期補助についても検討課題として議論する。

◇奨学金の返還
 コロナ禍の影響は続く想定。主に次のような対策を講じながら、円滑な返還金の回収を図る。電話または郵便による返還督促を継続する。また、滞納が3年を超える長期滞納者を個別に訪問して面談を実施。督促や返還の猶予相談などを行う。さらに、現地訪問で生活に「余裕あり」とみられる滞納者に対して民事調停を申し立て、解決を図る―など。

◇学生寮の運営
 1978（昭和53）年竣工の心塾東京寮（東京都日野市）建て替え計画が本格化する。年内に建設計画を策定、現施設の解体工事を経て、新施設は令和5年末に完成予定。読書感想文をはじめとする教養講座はコロナ対策を万全にとった上で実施する。観劇、音楽鑑賞会はその時点での感染状況を踏まえて開催の可否を決める。また、卒業生から学校生活や就職活動に関するアドバイスを受け

◇事業資金の強化・拡大
 寄付金収入の安定化と拡大を目的に、自動車学校教官に対する研修会、運転業務が柱となる運輸会社やタクシー会社の研究会、高校での交通安全講習など無料出張講演をコロナ感染拡大の状況に配慮しつつ、積極的に実施。ドライバーの安全意識向上、交通事故減に寄与しながら当会事業に対する理解を深め、支援の拡大に努める。

◇知名度の向上
 読者・視聴者層に合わせた新聞雑誌、テレビ、ラジオなどの媒体に積極的に情報提供し、露出を増やす。主要な施策や行事については、適宜ニュースをリリース。併せて、ACジャパンの公共広告申請手続きも進める方針。一方、ネット上の不当な情報に対する監視体制を強化し、必要に応じて法的措置も視野に入れる。

3年度予算
 赤字見込み
 令和3年度予算は、経常収益が財産運用益2億1900万円と受取寄付金5億円、学生寮運営収益1400万円の計7億3300万円。経常費用は、昨年度から導入された大学奨学生らを対象とした奨学金給付金1億5300万円など計8億1300万円に、管理費8500万円を加えた計8億9800万円。差し引き当期経常増減額は1億6500万円の赤字となり、正味財産の期末残高は313億4300万円となる見込み。

◇知名度の向上
 読者・視聴者層に合わせた新聞雑誌、テレビ、ラジオなどの媒体に積極的に情報提供し、露出を増やす。主要な施策や行事については、適宜ニュースをリリース。併せて、ACジャパンの公共広告申請手続きも進める方針。一方、ネット上の不当な情報に対する監視体制を強化し、必要に応じて法的措置も視野に入れる。

◇奨学金の返還
 コロナ禍の影響は続く想定。主に次のような対策を講じながら、円滑な返還金の回収を図る。電話または郵便による返還督促を継続する。また、滞納が3年を超える長期滞納者を個別に訪問して面談を実施。督促や返還の猶予相談などを行う。さらに、現地訪問で生活に「余裕あり」とみられる滞納者に対して民事調停を申し立て、解決を図る―など。

自分と向き合う
 文系から理系へチェンジ
 3年 野村美月
 昨年はコロナ禍による自粛期間がかなり長かったのですが、私は全く苦にならなりました。趣味や好きな物、好きな事が増え、以前の私より感受性が豊かになり、たくさん考えを理解できるようになりました。このコロナ禍でさまざまなことを考えた結果、文系だった私が理系になったので、一気に方向転換しました。そして、進路変更に伴い、自分がこの先どう生きていくのか、どう生きたいのか想像し、少しですがビジョンが見えてきました。

3年 高田裕基
 自分が必要なのを具体的に知るために、去年の出来事の中で一番の思い出は、「一生のスケートボードがつかないだ」「二生の友だち」

3年 寺前勇成
 僕には小さい頃からの夢があります。それは警察官になることです。親と自分のやりたいことが一致して、学校に楽しく行っているのはお母さんのおかげであり、たくさんの方に支えていただいているからだと思います。感謝の心を忘れず、夢を実現して皆さんの方に恩返しできる人になりたいです。（兵庫県）

3年 内村姫那
 高校に入学して早々に休校が始まり、盛んなはずの学校行事も多く中止、縮小されました。期待に満たない日々は次々と奪われましたが、決して諦めず、全国を複数地区に分けて開催する案などを探っている。

3年 寺前勇成
 僕には小さい頃からの夢があります。それは警察官になることです。親と自分のやりたいことが一致して、学校に楽しく行っているのはお母さんのおかげであり、たくさんの方に支えていただいているからだと思います。感謝の心を忘れず、夢を実現して皆さんの方に恩返しできる人になりたいです。（兵庫県）

3年 寺前勇成
 僕には小さい頃からの夢があります。それは警察官になることです。親と自分のやりたいことが一致して、学校に楽しく行っているのはお母さんのおかげであり、たくさんの方に支えていただいているからだと思います。感謝の心を忘れず、夢を実現して皆さんの方に恩返しできる人になりたいです。（兵庫県）



来年度から建て替えが始まる心塾東京寮

例年8月に開催している「高校奨学生と保護者のつどい」は、従来行われてきた形式での開催は困難と判断し、少人数による懇談に切り替える代替案を検討している。

「つどい」は代替案を検討
 コロナ禍での挑戦と変化
 当たり前の生活に感謝を

2年 内村姫那
 高校に入学して早々に休校が始まり、盛んなはずの学校行事も多く中止、縮小されました。期待に満たない日々は次々と奪われましたが、決して諦めず、全国を複数地区に分けて開催する案などを探っている。

3年 寺前勇成
 僕には小さい頃からの夢があります。それは警察官になることです。親と自分のやりたいことが一致して、学校に楽しく行っているのはお母さんのおかげであり、たくさんの方に支えていただいているからだと思います。感謝の心を忘れず、夢を実現して皆さんの方に恩返しできる人になりたいです。（兵庫県）



高校生の声
 未来は警察官に
 勉強もフグビー
 も一生懸命

3年 寺前勇成
 僕には小さい頃からの夢があります。それは警察官になることです。親と自分のやりたいことが一致して、学校に楽しく行っているのはお母さんのおかげであり、たくさんの方に支えていただいているからだと思います。感謝の心を忘れず、夢を実現して皆さんの方に恩返しできる人になりたいです。（兵庫県）



大阪市内のホテルで行われた関西寮入塾式(4月4日)



現施設では最後となる東京寮の入塾式(4月10日)

ようこそ新入生!

東京寮7人 関西寮14人 新たに入塾

今春、大学や専門学校などに入学した奨学生21人が東京、関西の心塾に入塾し、4月に入塾式が行われた。

4月4日に大阪市内のホテルであった関西寮入塾式には新入塾生14人のうち11人が、同日の東京寮入塾式には、7人のうち5人がそれぞれ出席した。

式典では、石橋健一理事長が「勇気」を持つこととの大切さを説き、人としての精神のありようについて述べた。また、心塾塾長を務める土肥寿員専務理事、大屋克文事務局長らが「人生の先輩」として、寮生活の心構えに触れながらあいさつ。併せてコロナ感染防止対策を徹底することや、交通遺児育英会の業務などについても説明した。

東京寮に入塾した石田杏寿さん(武蔵野大学)は「中学生のころから、教員になりたいという夢があった。実現に向けて頑張りたい」と抱負を話した。



(講談社文庫924円)

身分帳

佐木 隆三 著

直情径行と潔さの間でもがく

昭和61年2月、人生の大半を獄中で過ごした前科10犯の山川(当時44歳)が刑を満期で終え、極寒の旭川刑務所を出所する。彼は裁判の証拠として提出された、自分の「収容者身分帳」を被告の権利として細かく写し取って手許に残す。著者はこの極秘資料をもとに、山川の生きざまを縦糸、身分帳を横糸にして物語を展開する。山川は私生児として生まれ、その母親も彼を施設に預けて姿を消す。彼は犯罪を重ね、各地の少年院、刑務所を転々とする。32歳の時、キャバレーのホステス引き抜きをめぐる暴力団員と喧嘩となり、相手が抜いた日本刀を奪って刺殺、懲役10年の判決を受けて服役。受刑中に同囚者や看守に自らの糞尿を浴びせて追加刑を受ける。

井谷 昌喜 心塾東京寮読書感想文講師

もう読んだ?

都内のアパートで人生を再スタートさせるが、今浦島の彼はすぐカッとなる性格も手伝って衝突と挫折を繰り返す。そんな彼を身元引受人などが諷め、刑務所に逆戻りするのを辛うじて免れさせる。何度か借金するが、「男が癡るけん」ときちんと返済する潔さと直情径行のアンバランスさが読者をハラハラさせる。彼は新しい職に就くため、生地の福岡市に転居するところで本編は終わる。平成2年11月、彼の計画が入るところから補遺編『行路病死』が始まる。著者がその後の足跡を辿ることで、多少、彼が世慣れたことを確認する。絶版になっていたのを古書で読み、山川の止むに止まれぬ、生の迫力に魅了された西川美和監督によって映画化(すばらしき世界)されるのを機に文庫本として昨年7月、復刻されたことを付記しておきたい。



快音の予感

奨学生OB
千葉 美侑

敏感肌、自分が化粧品を作る側に

京都八王子市にある東京工科大学応用生物学部は、コロナ禍の昨年度でも就職内定率が98.6%を達成、実践的な知識や専門性を学べる学部として評価が高い。中澤明里さん(19)は同学部食品・化粧品専攻の2年生だ。

「昨年度より生命科学・医薬品専攻と食品・化粧品専攻の2専攻体制に変わりました。1・2年でバイオテクノロジー分野の研究に必要な生物や化学の基礎、基本的な実験スキルを学び、3年から各専攻がそれぞれ2コースに分かれます。私は化粧品コースに進もうと思つて、この大学に進学しました」

化粧品コースは皮膚・毛髪や化粧品開発について専門的に学ぶ。「化粧品コースのある大学は国内ではおそらく本校だけだと思つています。高3の夏休みに母と一緒に本学のオープンキャンパスに参加しました。最初は舞台照明に興味があり、TV業界を目指してメディア学部志望でしたが、応用生物学部食品・化粧品コースがあると分かり、志望を変えました。というのも、中学の時から敏感肌で悩まされ、毛細血管拡張症といつて顔の頬などに赤い斑点が浮き出るので、他人から見たらそれほど気にならない程度でも、自分では気になって仕方ない。赤い斑点を消すのに皮膚科に通つてレーザー治療をしていました。だから、自分で化粧品を作れたらと思つていて、地元の新潟には米麴を成分とする化粧品を酒造家と共同開発するメーカーがあり、将来は地元の化粧品メーカーに就職できればと思つています」

業との併用で、定期試験も予定通りにできました。しかし、高校時代は理科系で物理を専攻して、生物は大学に入つて初めての履修でした。レポートが大変で、アルバイトをする余裕もありませんでした。笑顔を手がけて友達もいっぱい作りたい。アルバイトもこれから探すつもりです」



在塾する心塾東京寮から大学まで40分程

中澤 明里さん 東京工科大学 応用生物学部 食品・化粧品専攻 2年

はばたく



た。キャンパスではサークル活動もできず、一念でしたね」今年、2年次は一部を除き通常通りの対面授業になり、サークル活動も解禁されるといふ(4月10日現在での状況)。キャンパス生活への希望も膨らむ。

母の玲子さんが一人で暮らす。兄・幸也さんは今年3月、大学を卒業。救急救命士の国家資格を取得し、今は消防学校の研修寮で暮らす。姉の理奈さんは結婚して富山県で暮らす。この7月に出産予定である。

大学生活は、いきなりコロナ禍の中で始まった。「1年次の前期はオンライン授業が中心で、後期は実習・実験を中心に週2日は対面授業

「化粧品サークルに入ろうと思つています。毎年、学園祭では自分たちで作ったハンドクリームなどを販売して好評だと聞いています。いつも

父の武さんは中1の時、交通事故で亡くなった。「アウトドアが大好きで、バーベキューパーティーもよくやっていました。ディズニーランドに連れて行ってもらったのが一番の思い出です」

夢まっくら

山下 ゆずさん

東京すし和食調理専門学校 和食調理科2年

父譲りの料理好きが選んだ和食道

白衣姿の立ち居振る舞いが初々しい。山下ゆずさん(19)は和食の専門学校に通う2年生。料理好きだった父親の面影を追うように、幼いころから憧れていた料理人の道を選び、技を磨いている。

「お手伝いをしながら料理を覚えた。父には料理法を教わるというより、やり方を見て自分で覚える感じです。よく怒られました。『しっかり見なさい』って。でも、『作って』と言えども作ってくれた。私はカルボナーラが好きで、和食じゃないんですけど(笑)」

「高校生になって、どうすれば料理人になれるのか、果たして自分がプロになれるのか、どんなジャンルの料理を選ぶのか、よく分からなかった。でも今の学校を見学して、先生方に本当によくしていた。『和食でやっさい』って。『和食でやっさい』って決めてました。授業も楽しいです。お寿司が好きなので、特に寿司の授業は」

「1年で基礎を学んで、2年生は調理実習が中心になります。今は班に分かれて懐石料理に挑戦中です。包丁も普段から使っていないと腕が鈍るので、できるだけ自宅でも練習するようにしています。盛り付けも、先生に『お客様の前で考えて』と教えられ、お客様の視線を意識した盛り付けを学んでいます」

「料理の道志したのは、お父さんの影響が大きいとか。料理人ではありませんでしたが、両親が生鮮食品の卸売業を営んでいたため、新鮮な魚や野菜でいろんな料理を作ってくれました。そんな父を、私も幼いころからずっと手伝っていましたから」



「料理人になろうと思ったのはいつごろですか。『小学校に上がる前から、父がくれた野菜くずをみじん切りにしていたんです。私、何かを切るのが好きだったみたいで。以来、ずっと料理人に憧れていました』

「特に関心したのは、入学早々、(大根の)かつら剥きで苦労したとか。『最初は全くできなかったけれど、こつこつ練習してできるようになりました。(里芋の)六方剥き、人参を梅の花の形にする飾り切りも。アジも下ろせますよ』

「お客様に『この店に来てよかった』と言われるような、いつかそんな自分の店を持つたいな、と思います」

「お父さん(享年48)が亡くなったのは小6の時。名前の『ゆず』は、仕事で納品中だった柚子の香りに『幸せな気分になった』という母・愛さんが、『周りのみんなを幸せにする人になつて』と願いを込めた。

「父譲りの生来の『料理好き』と『こつこつ努力すれば、結果は出る』という強い意志で、食べる人を笑顔にする和食料理人を目指す。今はどんなことに取り

オンステージ

「きびきびとした、快活な青年教師」

大阪市立豊仁小学校教諭、松下隼司さん(42)の第一印象だ。何げない動作の一つ一つにメリハリがある。その理由は――。実は松下さん、かつては小劇団に所属し、舞台俳優を志していた。

高校生の時に見た舞台上に感激し、10代後半から10年間、24歳で教職に就いてからも俳優を続けた。仕事を通じて知った現代創作ダンスに刺激を受け、教育にフイードバックさせたことも。アフリカの民族楽器とソーラン節を組み合わせたダンスを運動会に取り入れ、ダンス教育の指導技術を競う全国大会で1位になった。

「運動会のダンスって、一糸乱れず揃っているのがいい」と言われますが、踊っている子の顔は硬いままです。創作ダンスは、万系乱れて、でいい。従来型の対極だけれど、踊る側も楽しい。子どもの表情も生き生きしていますよ」

その松下さんが昨年末、本を出した。「ぼく、わたしのトリセツ」(アメーzing出版)。タイトル通り、教師経験から学んだ子どもの「取説」、つまり接し方を書いた。絵本仕立てながら、子どもの目線に立ったエピソードの数々に思わず膝を打ってしまう。

本から一例を引くと「コラ!と怒りたくなったら、間に『ア』を入れて『コアラ!』と怒鳴ってみよう」と勧める。「お互いハッピーになりますよ」とか。同業の教師が主な読者というの

子どもの目線で目指すは「楽級」!

「言うことを聞かない子には、つい怒鳴ってしまうことが多い。ですが、怒鳴ったところで子どもは慣れてくるし、むしろ子どもとの関係性が崩れては元も子もない。怒鳴る側も余計イライラが募るし、後悔で後味が悪くなるだけです」

ただし、「嫌われても怒鳴らないといけない時はある。怒鳴るのは最後の手段として持つておくべき。後のフォローも忘れないで」と、松下さんは言う。

自身も「教室でも家でもよく怒るタイプ」といい、怒りの感情をコントロールする「アンガーマネジメント」も学んだ。家庭では小2の長男と1歳の長女の父親だが、「かつては息子によく怒っていました。身近過ぎる存在だからこそ、怒ることで(息子を)変えられる、いや変わってほしい、という気持ちだったのかも

しれません」

2歳の時、父を自動車の転落事故で亡くした。飲酒運転の車に同乗した結果、当の運転手自身は一命を取りとめたが、後部座席の父は帰らぬ人となった。亡き父の記憶は残っていないが、無謀な飲酒運転の恐ろしさは、折に触れ、子どもたちに伝えていく。

授業は「楽しく」「楽級」を旨とする。そのための勉強も欠かさない。膨大な本を読み込み、仲間と勉強会を

松下 隼司さん

大阪市立豊仁小教諭(大阪市)

勤務先の豊仁小で。上の写真は昨年末に上梓した「ぼく、わたしのトリセツ」。インターネットで取り扱うオンデマンド出版だったが、近く一般書店にも並ぶ予定という。



何でも率先して100%の力で

あいつは

まつしま じゅんぺい
松嶋 純平 さん

とうまう
東奥義塾高校3年 サッカー部

青 森県弘前市の東奥義塾高校サッカー部に在籍する松嶋純平さん(18)は1年からレギュラーFWだ。3年では副キャプテンを務める。

「昨年はコロナで悔しい思いをしました。今年はその雪辱をぜひ果たしたいですね」
昨年のコロナ感染拡大第1波で同校は3月21日、5月6日まで臨時休校、新学期は4月8日に始まった。授業は全生徒に支給されたタブレット端末を利用して出欠確認、提出課題に答える形式のオンライン(Zoom)学習で乗り切った。その後、5月7日からは通常の授業を開始。サッカー部の練習は6月に本格的に再開したが、コロナでインターハイ(全国総体)は中止。代わりに県大会が7月下旬から開催された。

「しかし、県大会では2回戦で敗退しました。練習不足はとも同じなので、言い訳にはなりません。その悔しさをバネに、夏休みから猛練習を重ね、秋の全国高校選手権予選ではベスト8まで勝ち進みました。ところが、試合を目前にして学内の生徒に感染者が出てしまい、クラスメートだったレギュラー部員が濃厚接触者として隔離されることに。準々決勝は辞退することになったのです」

今年のコロナ感染拡大第3波で青森県は全国の中でも感染者が少なく、3月の春休みは強豪がそろそろ静岡県に遠征し、高校選手権県代表校の藤

枝明誠高と県新人戦準優勝校の藤枝東高と対戦した。

「どちらも完敗でしたが、内容は悪くなく、手応えがありました。チームとして足りないところ、やるべき課題が見え、そこを新年度からの練習で補ってあげれば、今年はいけるのではと思っています」

4月から1年生も加わり部員は60人に。新戦力でインターハイを目指す。今年には福井県で7月下旬から8月にかけてチームでは俊足のFW



遠征試合で

の特待生にもなれました。でも、正直迷いました。秋田県の強豪校、明桜高から授業料の半額免除のスポーツ特待生として推薦を得ていたから。ただ、食費や寮費を考えると、経済的負担はかなり大きいので、最終的にやめました」

純平さんは小学2年から中学まで地元のクラブチームに所属し、小学5年の時にスペインにサッカー留学までした。憧れの選手はクリスティアーノ・ロナウドで、交流試合では海外の同世代のレベルの高さ、魅力に取りつかれ、以来、サッカー一筋の青春を送る。

高校進学では母・光子さん(54)と少しもめたとか。家計のことを考えるとサッカーの優先の進学でいいのか、自分の思いをなかなか切り出せなかったためだ。光子さんは就職に有利な公立の高専や工業



「僕は、打倒・青森山田」を目指して本校に入学しました。今の監督を僕はクラブチームにいる時から知っていて、入学免除のサッカー部推薦

高校などへの進学を勧めたよ。だが、最終的には彼の希望通りしてくれた。

「3年はサッカー生活の総仕上げで、秋の高校選手権大会までは続けたいです。チームで副キャプテンとして何でも率先してやること、サッカーでも学業でも100%の力でやることを心がけています」
高校卒業後の進路もすでに決めている。

「仙台大学の体育学科スポーツトレーナー・コースに進むつもりです。将来はその職業に就きたいと思います」
学校推薦が得られるように勉強にも励む。世界史が得意で地理も好きな科目。海外への興味も強いという。

父 の茂さんが交通事故で亡くなったのは、彼が小学1年の時だ(享年46)。
「うちはリンゴ農家で、父と一緒に市場に収穫したリンゴを届けに行ったことを覚えています。物静かで優しい人でした」

弘前市の実家では、祖父(83)と祖母(81)がリンゴ栽培を続け、光子さんは介護士、長兄・祥平さん(31)はトラックの運転手、次姉・桃加さん(21)は光子さんとは別の施設で介護士と、彼以外が皆が働き手となり、同居する。長姉の夏生さん(28)は結婚して3歳と1歳の娘がいる。栃木県で家族4人で暮らす。コロナ禍にも負けず無事息災の一家である。

お母さんの背中

思 いもよまない光景に目を疑った。

3年前の秋、帰宅早々に近所の人から「ご主人、事故みたい」と電話があった。さつきまでLINEで大きなかきをしていた夫(52)は出合い頭の事故で頭に重傷を負い、集中治療室にいた。

一命は取りとめたものの、1か月半ほど入院。事故後の夫は、見た目はそのままながら「別人」のように変わっていた。

「自信満々で典型的な亭主関白だったのにすっかり自信をなくしてしまい、常に不安を抱え込んでいたように。感情が表に出なくなっ

て、携帯電話やテレビの操作も忘れ、事故に遭ったことすら覚えていないんです」
地元の保育園で特別支援員として働く永尾千登勢さん(52)はそう振り返る。

事故の前年、看護助手として働いていた病院が閉鎖されたのを機に、佐賀市内の大学に入学。介護福祉士の資格取得を目指していた

さなかの事故で、国家試験を2か月後に控えていた。入院当初、夫は周囲に敵意を露わにし、時に暴力的な振る舞いすら見せた。永尾さんは講義で学んだ「高次脳機能障害」を疑った

「夫自身も『何とかしなさい』という目標がある。永尾さんが相談に訪れる佐賀県高次脳機能障害者相談支援センター「ぷらむ」の犬丸理枝子さんも30年余り、高次脳機能障害の夫と過す。犬丸さんは「この障害があることすら、まだ社会に十分浸透していない。病名が分かり、周囲の支援があれば次のステップが見えてくるはず」と話す。

永尾さんはこう言う。「将来への不安はありますが、支援してくれる人は必ずいる。あきらめなければ、何とかなるんじゃないか、と思えてくるんです」

されたのを機に、佐賀市内の大学に入学。介護福祉士の資格取得を目指していたさなかの事故で、国家試験を2か月後に控えていた。入院当初、夫は周囲に敵意を露わにし、時に暴力的な振る舞いすら見せた。永尾さんは講義で学んだ「高次脳機能障害」を疑った

「夫の障害と娘の不登校が重なり、互いの実家も親が施設に入っていて頼れない。まさに八方塞がりのような状態でした。命があるだけでも十分、と言われることもありますが、(夫は)元には戻らないと思うと悲しきも人それぞれに違う。

復職に備える日々だ。事故前は家電大手で半導体製造に携わっていた。電車通勤に加えフルタイムで働けるかどうか、休職期間が終わる来年3月までにはメドをつけたいという。高2の長男(16)はサッカー

「(13)は気の合う友だちができて生活が一変、学校が楽しみになった。永尾さん自身にも「将来、あらゆる世代の障害者を持つ方や介護が必要な方が利用できる、グループホームのような施設を立ち上げた」という目標がある。



福祉生活支援を学んだ西九州大キャンパスで

支えてくれる人が必ずいる

あしながおじさんの広場



【2月】

奨学金返済も完了したため、ほんの少しですが送らせていただきました。遺児たちの幸せを祈っています。

(群馬県M.Y.さん)

ご卒業、進級おめでとうございます。お体に気を付けて夢に向かってください。

(神奈川県S.E.さん)

コロナ禍で遺児の方々は想像以上に大変だと思います。コロナが一日でも早く終息して、元の生活に戻れるとよいのですが。(茨城県Y.F.さん)

頑張って元気で学んでください。

(愛知県T.E.さん)

3月が誕生日ですので、年一回ではありますが、支援させていただきたいと思っています。

(岡山県A.K.さん)

全国の交通遺児の皆さんに、日本の社会は君たちを支えようとしているというメッセージを伝えてください。

(東京都H.Y.さん)

いつも遠くから応援しています。

(山形県O.M.さん)

【3月】

我が家の「あしなが貯金箱」に貯まったお金を毎年、この時期に送金させてもらっています。春に向かって少しばかりのエネルギーを贈ります。

(群馬県I.M.さん)

お便り

努力はいつか大きな実りに 交通安全願う気持ちを形で

コロナ禍の一日も早い終息を祈るばかりです。

(愛知県K.K.さん)

適切な運営にて寄付金をお役立てください。

(愛知県T.H.さん)

少しですが皆さま、学生さんの教育のために役に立てれば嬉しいです。

(東京都Y.M.さん)

子どもたちに希望を。

(福岡県N.K.さん)

トラスパーク様
人との街と未来をつなぐ、
駐車場。

トラスパーク様は、1993
年より時間貸駐車場の運営・管理

ご支援に感謝いたします

育英会から

みようとしました。長く続けられるように努めたいと思います。

(兵庫県K.T.さん)

わずかな金額ですが、寄付できるようになりましたので再開させてもらいます。これまでの私の人生は恵まれたものでした。少しでも皆さんの役に立てればと思っ

ています。これからの人生は恵まれたものでした。少しでも皆さんの役に立てればと思っ

ています。これからの人生は恵まれたものでした。少しでも皆さんの役に立てればと思っ

少額ですが昇給分を寄付させていただきます。

(奈良県H.T.さん)

年に一度、些少な寄付しかできませんが、お役に立てれば幸いです。

(埼玉県S.H.さん)

コロナ禍で学費の支払いに困っている若者をどうかお助けください。

(愛知県G.T.さん)

私は生後8か月からの交通遺児でした。こちらで大人になるまで応援していただきました。ささやかですが、感謝の意を今後お届けします。よろ

しくお願いします。

(兵庫県Y.H.さん)

交通遺児育英会にお世話になりました。微力ではありますが感謝いたします。

(愛知県Y.H.さん)

初めて寄付させていたが、できる限り毎月送金できたらと思います。将来の「夢」を、お子さまがかなえていただきために、微力ですがよろしく

お願いします。

(愛知県F.S.さん)

子どもにとって教育は一番大事なものと考えているため、少しでもその一助となれば幸いです。

(東京都A.J.さん)

コロナで大変ですね。いつか笑える時が来ることを願っています。

(福岡県M.K.さん)

運送業を営む者として、特に道路交通の安全を願う気持ちを形で表したく思っていました。インターネット検索をしたところ

交通遺児育英会にたどり

つき、最適と感じました。

(兵庫県Y.H.さん)

少額ですが昇給分を寄付させていただきます。

(東京都T.T.さん)

交通遺児育英会の連絡先(平日9:00~17:30)	
▽奨学金貸与について	0120-521286
▽返還・猶予・免除について	0120-521287
▽成績相談・つどい・語学研修	0120-521295
▽募金・寄付について	0120-521285
▽心塾入寮申し込みについて	0120-355619

高校・専修学校・各種学校
大学・大学院

君につばさ一夢を、諦めない

交通遺児 奨学生募集

《保護者の重い
後遺障害も対象です》



東京都と関西に大学生・専門学校生の学生寮あり

(公財) 交通遺児育英会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-1 平河町ビル3階
☎ 03-3556-0773 ☎ 0120-521286
<https://www.kotsuiji.com/>

